

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	宗教法人大本 信徒会館	階数	地上3F
建設地	京都府亀岡市	構造	S造
用途地域	第1種住居地域 防火無指定 法22	平均居住人員	200 人
地域区分	5地域	年間使用時間	800 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2017年4月20日
敷地面積	31,299 m ²	作成者	平松晴夫
建築面積	881 m ²	確認日	
延床面積	2,372 m ²	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 1.1 ★★★★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超 ☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>③上記②以外の</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>④上記①</td> <td>73%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建築物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	73%	③上記②以外の	73%	④上記①	73%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	73%									
③上記②以外の	73%									
④上記①	73%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)					
Q 環境品質					
Q のスコア = 2.7					
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)			
Q1のスコア = 2.6	Q2のスコア = 2.7	Q3のスコア = 2.8			
音環境 2.0, 温熱環境 2.6, 光・視環境 3.0, 空気質環境 3.2	機能性 2.2, 耐用性 3.0, 対応性 3.1	生物環境 2.0, まちなみ 3.0, 地域性 2.8			
LR 環境負荷低減性					
LR のスコア = 3.4					
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境			
LR1のスコア = 3.5	LR2のスコア = 3.4	LR3のスコア = 3.3			
建物外皮の 3.0, 自然エネ 3.0, 設備スステ 4.0, 効率的 3.0	水資源 3.4, 非再生材料の 3.3, 汚染物質 3.3	地球温暖化 4.0, 地域環境 3.1, 周辺環境 2.8			

3 設計上の配慮事項		
<p>名称</p> <p>本敷地は自然環境に恵まれておりできるだけ損なわない様に配慮し又、その景観にとけこむような意匠計画をした。</p>	<p>その他</p> <p>(注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>	
<p>対応内容</p> <p>Low-Eガラスを採用し熱負荷低減に配慮した</p>	<p>対応内容</p> <p>階高に余裕を持たせ天井を高めにとると共に設備機器・配管等の施工容易さを考慮した。 建物の維持管理の維持管理の容易さを考慮した。 空調設備等の運転を中央より制御できるようにした。</p>	<p>対応内容</p> <p>建物周囲に道路に繋がる広い空間を設け、その間に緑地が有り良好な景観を形成している。また建物には庇・バルコニーで水平線を強調、落ち着いた色彩で周囲の景観に配慮している。</p>
<p>対応内容</p> <p>全熱交換器を設置し換気負荷の低減に配慮している。自然エネルギーの利用として太陽光発電装置を設置した。</p>	<p>対応内容</p> <p>超断水形便器や水洗を採用した。エコマーク商品の一部を使用している。また発泡断熱材はODP=0、GWP=3以下である。</p>	<p>対応内容</p> <p>駐車場・駐輪スペースを確保し、また最寄駅から宿泊者の送迎バスの用意がある。 空調室外騒音・振動に配慮し防音壁・防振架台等を採用した。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される